

※後醍醐天皇行在所跡については、「隠岐国分寺境内(国史跡)」説と「黒木御所跡(県史跡)」説の2つの学説があります。



**1 国賀海岸(摩天崖・通天橋)** (西ノ島町)  
隠岐を代表する景勝地である国賀海岸には、巨大なナイフで垂直に切り取ったような高さ257mの大絶壁「摩天崖」や、海に大きくせり出した岩の架け橋「通天橋」などがあります。どちらも長年の海食作用により大自然が削り出した造形美です。写真は赤尾展望所から見た国賀海岸です。



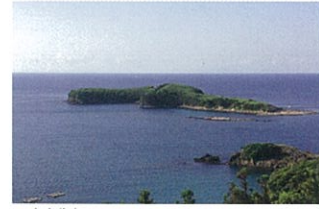
**4 明屋海岸** (海士町)  
赤崖とエメラルドグリーンの海のコントラストが美しく、女神様がお産をしたという伝説が残されている海岸です。そこにそびえたつ「屏風岩」は、中央にある空洞がハート型に見えることから最近では「ハート岩」とも呼ばれています。



**6 隠岐神社** (海士町)  
後鳥羽天皇を祭神とし崩御700年に合せて建てられました。本殿は隠岐造という独特のもので、近くには行在所跡や御火葬塚、隠岐神社の宝物館が展示されている資料館などがあります。



**7 赤壁** (知夫村)  
空に向かってそびえる真っ赤な断崖が大迫力の景観を作ります。展望台からは圧巻・壮絶な断崖を。船からは1kmに広がる赤い岩の層に大地の成り立ちを望めます。



**9 浅島** (知夫村)  
知夫里島の南に浮かぶ無人島へは渡船でわたります。磯遊びや岩場のシュノーケリングなど、夏場の海遊びスポットです。



**5 海中展望船あまぼう** (海士町)  
大きな魚や群れをなす小魚など、誰でも気軽に海中散歩が楽しめます。ナイトクルーズでは夏から秋にかけて神秘的に光る夜光虫が見られます。



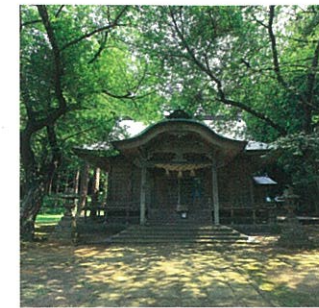
**8 赤ハゲ山(展望台)** (知夫村)  
360度のパノラマの絶景地。世界でも珍しいカルデラ湾に浮かぶ島前に隠岐諸島、遠く島根半島が望め、なだらかな山肌に広がる放牧場の牛に時間を忘れず。



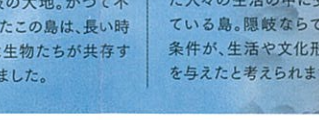
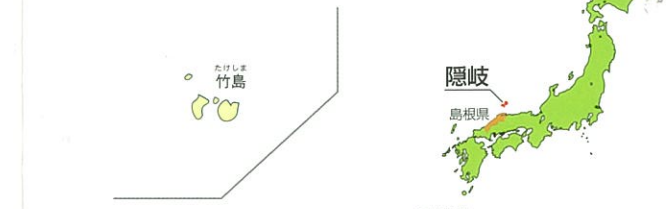
**10 天佐志比古命神社(一宮神社)** (知夫村)  
島民から「一宮(いっくう)さん」と呼ばれ、島に伝承する子供歌舞伎や、皆一太鼓などが奉納されます。境内には本殿・拝殿・芝居小屋の他に後醍醐天皇のお腰かけ石があります。



**2 黒木御所跡(後醍醐天皇行在所跡)**  
碧風館(西ノ島町)  
「太平記」に記述が残る後醍醐天皇行在所跡です。敷地内には後醍醐天皇にまつわる資料館「碧風館」があります。



**3 由良比女神社** (西ノ島町)  
延喜式神名帳に名神大社と記される隠岐国一宮で、海上守護神として島民の信仰を集めています。神社前の浜は、イカが神に非礼を詫言にきたという「いか寄せ伝説」が残っています。



**13 隠岐の牛突き** (隠岐の島町)  
隠岐に配流となった後鳥羽上皇をお慰めするために行われたことが起源と言われ、800年近くの伝統を誇り、日本最古の歴史をもちます。



**15 水若酢神社** (隠岐の島町)  
延喜式神名帳に名神大社と記される隠岐国一宮です。本殿は隠岐造で国指定重要文化財です。映画「渾身KON-SHIN」の舞台でありロケ地となっています。



**16 屋那の松原舟小屋群** (隠岐の島町)  
屋那の松原は、若狭の国から隠岐にきた八百比丘尼が一夜で植えたと言われています。その近くに20棟ほど残された舟小屋は、杉皮葺きの屋根に浜辺の石が乗せられた舟のアパートです。



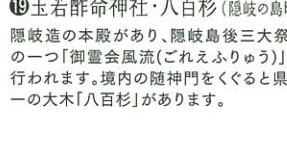
**17 白島展望台** (隠岐の島町)  
島後の最北端に突出した白島崎の北方には、松島、沖ノ島、白島といった多くの島々が散在しており、このあたりを総称して白島海岸と呼んでいます。長い年月の風化や海食作用によって、極めて特異な風景美を作りだしています。



**18 億岐家住宅・宝物殿** (隠岐の島町)  
玉若酢命神社に隣接する億岐家住宅は、国指定重要文化財で茅葺き屋根と隠岐造が特徴です。宝物殿には「厭鈴(えきねい)」[隠岐食印(おきそういん)]など重要文化財が展示されています。



**19 水若酢命神社・八百杉** (隠岐の島町)  
隠岐造の本殿があり、隠岐島後三大祭りの一つ「御霊会風流(ごれいふうりゅう)」が行われます。境内の随神門をくぐると県下一の大木「八百杉」があります。



# 世界認定! 隠岐世界ジオパーク

隠岐世界ジオパークを知る  
**3つのキーワード**

KEYWORD **1**  
何億年もからの大地の成り立ち

隠岐の大地で発見された様々な年代の地層や岩石。この島の地質から、大昔の地球で何が起こったのか、その様子を知ることができます。

KEYWORD **2**  
大地の上に成り立つ独自の生態系

約600万年前、火山活動によって誕生した隠岐の大地。かつて不毛の大地だったこの島は、長い時を経て多様な生物たちが共存する楽園となりました。

KEYWORD **3**  
古代から現代へと続く人の営み

太古の昔から続く文化が、いまだ人々の生活の中に受け継がれている島。隠岐ならではの自然条件が、生活や文化形成に影響を与えたと考えられます。

周囲を海で隔てられた隠岐世界ジオパーク。ここは島だからこそ、大地・生物・人間の深いつながりを見つけることができます。

**ジオパークとは?**  
ユネスコが支援する活動で、国際的に価値のある自然公園を有し、それらの保全、活用を行う取り組みです。  
2013年9月現在、世界29か国、100地域が世界ジオパークとして認定されています。隠岐は2013年9月に、洞島湖有珠山、赤魚川、島根半島、山陰海岸、宍戸に続いて、日本で6番目の世界ジオパークとして認定されました。